

耕畜連携を推進

「良質な堆肥で土づくり」

大山町耕畜連携事業推進記念式典が、3月23日(月)に名和畜産センターで行われました。本町は、家畜糞尿等の有効活用による土づくりで、環境にやさしい循環型農業の推進を目的に、耕畜連携事業に取り組みます。

式典で森田増範町長は「良質な堆肥を使って、農業の基本である土づくりに取り組んでもらいたい。農家の生産技術と合わせて農家こだわりの農産物を栽培し、安全でおいしい大山ブランドのさらなる発展につなげてほしい」と挨拶しました。

同事業では、町が名和畜産センターの堆肥舎を借り受け、施設の管理委託を受けた山内畜産が堆肥の生産、運搬及び散布を行います。



▶事業で購入した農業機械のお披露目も行いました

堆肥の注文は、町内のJA鳥取西部各支所
グリーンで受け付けています。

【堆肥の価格】

ほ場までの運搬—2トン：7,020円
ほ場への散布作業まで—2トン：10,044円

登下校の安全を守りたい！

タスキ寄贈



▶タスキを手渡す交通安全協会
中山支部(中山中学校)

中学生の通学時の交通安全と事故防止に役立ててもらおうと、中山・名和・大山の各交通安全協会支部が、夜光反射タスキをそれぞれの校区の中学校に寄贈しました。

中学入学予定の新一年生に贈られるもので、各支部が毎年行っている取り組みです。

このタスキは、ドライバーに自分の存在を知らせるのに効果があります。

中学生のみなさん、夜光反射タスキを忘れず着用しましょう。

東京大学

総長大賞受賞

青木さん

この春、東京大学大学院を卒業された青木翔平さん(国信出身)が、平成26年度東京大学総長大賞を受賞されました。

航空宇宙工学専攻の青木さんは、在学中にアフリカ・ガーナなどを何度も訪問し、現地の高校生に工学系技術の支援活動を行ってきました。「途上国における理科教育」



工学教育による人材育成と現地の製造業を振興する活動」が高い評価を受けての受賞となりました。

あなたの人生を大切にこころ安らかに暮らせる「住まい」です。

対象となる方

高齢のため自炊ができない程度の身体機能の低下があり、独立して生活するには不安のある方で、対象年齢は60歳以上の方です。

施設、各事業所見学もお気軽にお越しください。

社会福祉法人 和貴

西伯郡大山町押平747-1
☎(0859)54-6180

ケアハウスかずき
デイサービスセンターかずき
ヘルパーステーションかずき
居宅介護支援センターかずき

～笑顔あふれる事業所です～

小規模多機能型居宅介護 よろず承り処 かずき

住みなれた地域・家で、いつまでも安心して暮らせるように
365日・24時間支援させていただく施設です。

対象者 大山町にお住まいで、要支援
要介護認定を受けておられる方。

お気軽にご相談ください。

介護のご相談承ります！

西伯郡大山町押平747-1
☎(0859)54-3101